

稲わらは、焼却せずに 土づくり等に利用を 県が指導要綱を制定

稲わらの焼却が生活環境に及びば影響が大きいことから、「新潟県稲わら等の適正処理に関する指導要綱」が制定されました。この指導要綱は、「稲わらの焼却が生活環境に支障

を及ぼすおそれがあると認められるときは、焼却を制限する期間を定め、焼却行為の中止、その他必要な措置を指導及び勧告をする」というものです。加えて「稲わら等の利用で地力の増進を図るための指導、講習を実施する」等の内容になっております。これを指導する体制は、県の関係各課、関係機関及び市町村、農業団体等が一体となって実施します。稲わら焼却が及ぼす影響については、苦痛を伴う身体への被害や交通上の支障等で年々苦情が多くなっていることや、その他の健康被害等についても、各分野で指摘されつつあります。このように生活環境等への影響が大きいだけに、稲わらは焼却せずに、土づくりに利用願います。

第十四回北信越国体に五名出場

北信越国民体育大会が、八月二十七日から二十九日にかけて新潟県内で開催された。五名の方々が出場しました。(村内在住者及び村内事業所勤務)

- 成年男子バスケット 武藤 俊 昭さん(8)
- 成年男子バスケット 県立新潟看護学校 教諭 谷内田 小百合さん(10)
- クレール射撃 スキート 五十嵐 誠 雄さん(4)
- 松山重車輦工業(株) 勤務
- ハンドボール成年女子 源川 恭 子さん(2)
- ポーリング成年女子 横越村役場 保健婦 風間 智恵子さん(1)
- 山崎製パン(株)新潟工場

平成五年度村体協表彰 推薦受付

村体育協会では平成五年度村体協表彰者の推薦を受け付けています。栄章の区分は次のとおりです。

- 一、体育功労章 満四十才以上で村体育界に功労のあった者。
- 二、優秀指導者章 永年にわたり各種団体の指導又は県大会優勝や全国大会出場選手の育成指導に顕著な業績のあった者。
- 三、優秀競技者章 一般、学生、生徒、児童で競技者として県大会優勝、全国大会出場または、これに準ずる優秀な成績をあげた者。
- 四、優秀チーム章 一般、学生、生徒、児童で構成する団体で県大会優勝、全国大会出場または、

これに準ずる優秀な成績をあげたチーム。

○推薦は、自薦他薦を問いません。用紙は村中央公民館内体協事務局にあります。

○推薦締切 九月二十日(必着)

借りて読んで下さい 中央公民館購入図書案内

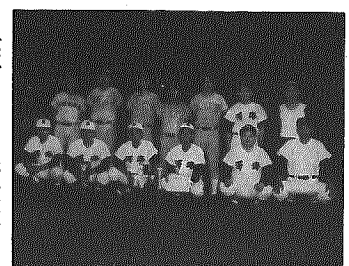
海に消えた56人	島原 落穂	総こ 恵雄
ネコの住所録	群 よう	邦 輝子
音符	三浦 長湖	多湖 所 一郎
運を育てる	米多 鈴木	石原 和夫
まず動く	奇跡のダイエット	大人養成講座
奇跡のダイエット	大人養成講座	仮面の家郷
大人養成講座	仮面の家郷	望 死ぬまでに
仮面の家郷	望 死ぬまでに	立 つ
望 死ぬまでに	立 つ	小沢一郎の逆襲
立 つ	小沢一郎の逆襲	真相の古代史「日本」建国

横越方言けんぶんろく③

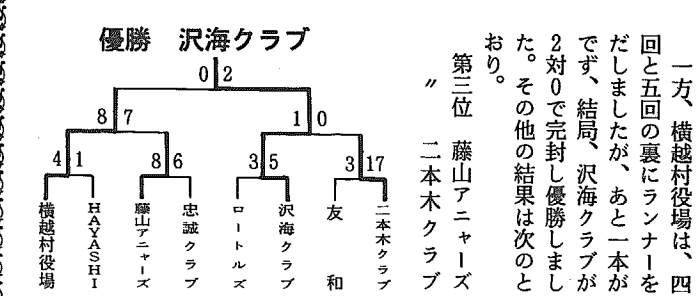
○食 (横越村の民俗より 著者 曾我廣見さん)

方言	標準語	用法その他
オサイ	おかず	
オタチ	ご飯のおかわり	
オツケ	味噌汁	
カイモチ	おはぎ	
カタモチ	かき餅	
カテメン	カテを入れた飯	餅をうすく切って乾燥、焼いて喰べる
カナバチ	土器のすり鉢	餅をうすく切って乾燥、焼いて喰べる
コピリ		餅をうすく切って乾燥、焼いて喰べる

沢海クラブが優勝 壮年ナイター野球大会



壮年ナイター野球大会が七月二十六日(月)から始まり八チームの間で熱戦が展開されました。決勝戦は、沢海クラブと横越村役場の対戦で八月十八日(水)に行われました。試合経過は、沢海クラブが、一回と三回にそれぞれ1点ずつ得点し合計2点を挙げました。



北信越中学校 総合体育大会の幅跳び 3位入賞

横中3年 和澄 崇さん



和澄崇さん(横越中学校三年)が陸上に興味をもちはじめたのは、小学校からである。本格的にやりはじめたのは中学校にはいってからで平成五年度の成績と記録は下記のとおり輝かしい実績である。特異な種目は、幅跳びだそうで三段跳びは始めたばかりであるが、未知の可能性を秘めており、今後も続けていきたいと言った。

和澄崇さん(横越中学校三年)が陸上に興味をもちはじめたのは、小学校からである。本格的にやりはじめたのは中学校にはいってからで平成五年度の成績と記録は下記のとおり輝かしい実績である。特異な種目は、幅跳びだそうで三段跳びは始めたばかりであるが、未知の可能性を秘めており、今後も続けていきたいと言った。

俳句

句題 夏野・郭公・若竹

- 第一位 放牛の眠りて岩となる夏野 (横越) 谷井 野武士
- 第二位 放へ行くも帰へるも夏野通らねば (木津) 坪谷 十九一
- 第三位 搾乳のリズムよろしき朝郭公 (横越) 市村 横雲子
- 第四位 夕郭公峽田に水を引き終へる (二本木) 小林 千恵子
- 第五位 郭公の声どこまでも過疎の村 (沢海) 高橋 一夫
- 第六位 郭公や日毎濃くなる山の巖 (木津) 坪谷 十九一
- 第七位 男の子ばかり五人や今年竹 (木津) 坪谷 十九一
- 第八位 母何時も何か背に負て夕夏野 (木津) 坪谷 十九一
- 第九位 山裾の夏野は起伏かさねつつ (二本木) 小林 千恵子
- 第十位 抜きん出てまだ癖持ため今年竹 (横越) 市村 横雲子

社会教育ガイド

9月の中央公民館事業 (会場は中央公民館)

■文学講座
期日 9月1日(休)
時間 午後1時30分
内容 小林 存の歌「初期の短歌」
講師 塩井三作氏

■女性教養セミナー
期日 9月18日(土)
時間 午前9時30分
講師 高橋ハナ氏

■くらしの書
期日 9月21日(火)
時間 午後1時30分
講師 小木光興氏

■高齢者大学と婦人会合同運動会
期日 9月下旬
時間 午前10時
会場 横越勤労者体育センター

■婦人大学
期日 9月30日(木)
時間 午後1時30分
内容 講演 「地球規模で考え地域で実践」
講師 三善万里子氏

県下の俳人が集い句会

横越村小阿賀吟社主催の新潟県各派連合俳句大会が七月二十五日(日)に木津の農業構造改善センターで開催されました。当日は、県下各地から八十余名の愛好者が集い終日作句づくりに励みました。なお、結果は次のとおり。

○席題 持寄句の部
一位 今井天花(横越村)

二位 郷沢宝一(中之島町)
三位 坪谷徳一(横越村)
○席題 一句競詠の部
一位 信田史外(中条町)
二位 齊藤鉄也(新津市)
三位 坪谷徳一(横越村)
○席題 高点句の部
一位 今井天花(横越村)
二位 今井 雪(横越村)
三位 熊谷かすや(新潟市)